

事務事業評価シート(総括表)

事務事業	57	博物館友の会の推進					
章	2	ともに学ぶ、文化とふれあいのあるまち					
大項目	02	個性ある地域文化づくり					
施策	02	文化資源の保護と文化環境づくりの推進					
事業内容							
目的	博物館友の会を推進し、区の歴史や文化を調査・研究する自主的活動を支援することにより、郷土の歴史・文化に対する理解及び地域文化の向上を図るとともに、区民等の博物館事業運営への参画と協働を推進することで、より親しまれる博物館を実現します。						
対象・手段	区内小・中学生を対象にしたこども友の会と、区民及び区外の来館者を対象とした一般友の会の事業を推進します。 林芙美子記念館と新宿歴史博物館に博物館の解説及び史跡案内を内容とする博物館ボランティアを導入します。						
成果(事業が意図する成果)							
参画・協働型の博物館事業運営により、区民に親しまれる博物館が実現できます。							
事業成果指標							
指標名		定義			目標水準		
一般友の会会員登録数		一般友の会登録状況			(平成19年度) 年度に (160人) の水準達成		
博物館ボランティアの活動状況		ボランティア活動件数			(平成19年度) 年度に (400件) の水準達成		
					() 年度に () の水準達成		
成果の達成状況							
	単 位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考	
事業 成果 指標	目標値 1	人	0.00	160.00	160.00	160.00	
	実績 1	人	0.00	206.00	241.00	233.00	
	= /	%	0.00	128.75	150.62	145.62	
	目標値 2	件	0.00	400.00	400.00	400.00	
	実績 2	件	0.00	148.00	490.00	1,159.00	
	= /	%	0.00	37.00	122.50	289.75	
	目標値 3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	実績 3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	= /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
事業の実施内容							
平成18年度	1 こども友の会の運営 2 一般友の会の運営 3 ボランティア講座の実施 4 新宿歴史博物館及び林芙美子記念館の解説ボランティアの登録(97名)及び活用(490件)						
平成19年度	1 こども友の会を生涯学習財団事業課のレガス子どもクラブと連携実施 年間20回(歴史分野8回) 2 一般友の会の運営 登録者233人 3 ボランティアレベルアップ講座等の実施 4 博物館ボランティア(林芙美子記念館ガイドボランティア 史跡ガイドボランティア 展示ガイドボランティア)の登録(112名)及び活用(延1,159件)						

部名称		地域文化部		課名称		文化観光国際課	
		単 位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考
トータルコスト	事業費	千円	738	712	542	904	
	人件費	千円	6,548	6,548	6,820	6,791	
	事務費	千円	0	0	0	0	
	減価償却費等	千円	0	0	0	0	
	総計 = + + +	千円	7,286	7,260	7,362	7,695	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	純計 = -	千円	7,286	7,260	7,362	7,695	
	受益者負担率 /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
財源内訳	一般財源 = -	千円	7,186	7,028	7,095	7,448	
	特定財源		100	232	267	247	
	一般財源投入率 /	%	98.63	96.80	96.37	96.79	
職員	常勤職員	人	0.50	0.50	0.50	0.50	
	非常勤職員		1.00	1.00	1.00	1.00	
事業に関する検討課題							
<p>平成19年度の事業の実施内容に記載のとおり、一般友の会や博物館ボランティアの登録者数や活用件数は大幅に増大しました。今後は本事業を歴史博物館の経常的な事業とする中で、ボランティアの活用領域のさらなる拡大と、自主グループの自立に向けた活動支援を継続していく必要があります。</p>							
評価基準に基づく評価と理由	達成度	3	博物館ボランティア養成とその活動も進行し、参加・協働型の歴史博物館運営への環境整備が着実に進んでいます。				
	実施の成果	2	こども友の会、一般友の会の活動の推進により、親しまれる博物館の実現に向け、自主グループの育成と、これと協働するための環境整備が進んでいます。				
	効率性	2	こども友の会の活動は、生涯学習財団事業「レガス子どもクラブ」と連携実施することで、効率的に事業の実施回数、参加者数を拡大することができました。また、博物館ボランティアの活動領域・規模が拡大したことで、より効果的に事業を展開しました。				
	行政の関与	3	博物館ボランティア等との協働による博物館事業運営を通じ、新宿の歴史や文化に親しみ、郷土への愛着・誇りを育むと共に、次世代に継承していくことができます。				
	妥当性	2	博物館友の会は、博物館利用者の増大及び参画・協働による博物館事業運営の実践を通じて、親しまれる博物館づくりを推進することを目的に実施しており、適切に目標設定されています。				
	施策寄与度	3	平成17年度と比較し、友の会会員数は13.1%増、博物館ボランティア登録者数は489.5%増、ボランティアの延活用件数は683.1%増と極めて順調に推移し、協働による「文化資源の保護と文化環境づくりの推進」に大きく寄与しました。				
総合評価	19年度の評価をBとしました。理由は こども友の会の活動が、生涯学習財団事業「レガス子どもクラブ」と連携実施することで、効率的に事業実施回数、参加者数の拡大を実現することができたこと、一般友の会において、19年度末の登録者が233人となり、継続的利用者の増加が図られていること、博物館ボランティアの登録者が112人、活用は延1,159件と大幅に増加し継続的な協働のパートナーとしての位置づけが確立されてきている等、着実に事業が展開できているからです。また、過去3年間の実績からもBと評価しました。17年度、創設した、博物館ボランティア制度をはじめ、参加・協働型の博物館事業運営の環境整備がほぼ計画通りに進んでいるためです。						B
							過年度評価
						18年度 B	
						17年度 B	
						16年度 B	
						15年度	
改革方針							方向性
	平成20年度からは、経常事業の「新宿区生涯学習財団運営助成」の中で事業を実施し、引き続き、ボランティアの活動領域を博物館事業全体に広げるとともに、参加・協働型博物館運営を進めていきます。						1
						現状のまま継続	